

きつとワクワクしが

12号
新春号
'20.1

KIT同窓会
滋賀県支部
理事会



新年あけましておめでとうございます

2020年正月

絆を大きく育て、思いの世代間継承を広めていこう

京都工芸繊維大学同窓会 滋賀県支部 理事一同

湖国も新しい年を迎えました。われら滋賀県支部は、今年創設5年目を迎えます。年号も変わり令和2年となります。皆さま方におかれましては、新たな気持ちで夢や展望を思い描いたり、初心を再確認される方も多かったのではと思います。そこで今、支部創立の思いを振り返り、これからへの思いにつなきたいですね。

先ず1つは、母校大学への応援団的支援活動でした。直接的には、ここ2、3年検討を重ねてきた大学への寄付を、30万円を目標額として本年第1回の払い込みを終えることができました。これは、今年大学開学120周年記念事業としての要請に応じたものです。在学生の課外活動の充実を目指したもので、まだ少額ですが、継続することで、貢献目標も膨らむと思います。また、同窓会本部役員として活躍することでも、大学への支援活動につながると信じます。

もう一つの、われわれの初期目標は、湖国滋賀県のよき遺産を再確認したり、発掘したりして感動し、それを広く同窓に知らせたりすることでした。そのことにより、そのよさを、子や孫の世代へ継承していくことでした。昨年は、佐川美術館を見学したり、50年に一度の延暦寺根本中堂大修理現場の見学も、それも在学生や一般の方に参加を頂き、実施できました。滋賀県は自然環境においても、文化遺産においても大変恵まれた地域です。NHKの朝ドラ「スカーレット」でも信楽をとりあげてくれています。日本最古の茶の産地「朝宮」を思い出すのもいいかもしれません。古くから栄えた文物的、自然的な遺産を、もっともっと、知って、広く、次の世代まで引き継いでいきましょう

ともに、今年も楽しんでやって行きましょう。みなさまのご健康とご多幸をお祈りしております。